証券コード7819

笑顔を咲かせるZACCA
SHO-BI

2012年9月期　第2Q決算
2012年9月期　事業計画　説明会

2012年5月17日

12/9月期　第2Q決算ハイライト

笑顔を咲かせるZACCA SHO-BI

12.9第2四半期は、ブランド立ち上げに伴う先行費用の発生などにより、増収ながら減益となった

1　事業環境認識

- 国内景気全般が震災からの復興需要や製造業の生産回復に伴い緩やかな回復傾向にある一方、欧州財政問題の再燃懸念、電気料金引き上げ懸念もあり、先行き不透明感は強い。個人消費に関しては、引き続き価格志向は強いものの、前年の自粛ムードの反動もあり一部高単価商品に動きが見られるなど回復基調にある。

2　12/9第2四半期期の経営成績

- 売上高は　8.2%増、営業利益は▲35.1%減と増収ながら減益決算となった。
- 今期スタートの新ブランドの立ち上げに伴う広告、販促費用が先行的に発生していることが主因。

3　注力ブランドである「Play Girl」と「BRIGITTE」は順調なスタートを切る

- 今期の注力2ブランドは予算通りの進捗で、順調なスタートを切ったと判断している。

4　事業戦略の進捗

- ドラッグストア、ディスカウントストア向けにアイメイク関連商品が好調。100円均一ショップ向けも顧客の在庫調整完了により回復。
- 粧美堂日用品（上海）有限公司の事務所を移転。海外事業部中心に海外での新規顧客開拓を積極化している。

2012/9月期　第2Q決算の概要

12/9期　第2Q決算の概要

笑顔を咲かせるZACCA SHO-BI

- 売上高は新ブランドの立ち上げや、ドラッグストア、ディスカウントストア、100円均一ショップへの販売が好調に推移したことにより、前年比8.2%増の7,515百万円となった。
- 営業利益は、今期より先行投資として、積極的なプロモーション活動を行ったことにより販売管理費が増加し、前年比35.1%減の538百万円となった。
- 経常利益は、締結済の為替予約との差額を計上する為替差損が前年同期比で減少したことで営業外損益が改善し、前年比31.7%減の554百万円となった。
- 当期純利益は、東日本橋ビルの売却益計上に伴う特別利益の計上があり、前年比23.0%減の345百万円となった。

（百万円）	11/9期　第2Q	構成比（%）	12/9期　第2Q	構成比（%）	前年同期比（%）
売上高	6,946	100	7,515	100.0	+8.2
自社企画商品	4,407	63.4	4,871	64.8	+10.5
売上総利益	2,403	34.6	2,559	34.1	+6.5
販売管理費	1,572	22.6	2,020	26.9	+28.5
営業利益	830	12.0	538	7.2	▲35.1
営業外損益	▲18	―	15	-	
経常利益	811	11.7	554	7.4	▲31.7
特別損益	▲21	―	50	-	
当期純利益	448	6.5	345	4.6	▲23.0

販管費の内訳

笑顔を咲かせるZACCA SHO-BI

- 新ブランド立ち上げに伴うプロモーションのため、広告宣伝費が228百万円、販売促進費が121百万円増加。
- 一般管理費・その他は、株主数増加に伴う関連費用の増加が25百万円、事業活動の活発化による旅費交通費が15百万円増加。

（百万円）		11/9期 第2Q	12/9期 第2Q	増減額
販管費合計		1,572	2,020	+447
	人件費	830	857	+27
	販売促進費	184	306	+121
	運賃及び荷造費	176	179	+2
	減価償却費	34	45	+10
	広告宣伝費	26	255	+228
	一般管理費・その他	319	377	+57

貸借対照表の主な増減要因

（百万円：%）	11/9月期	構成比	12/9月期 第2Q	構成比	比較増減額	コメント
流動資産	7,024	65.4	7,657	65.0	+633	
現・預金	3,418	31.8	2,983	25.3	▲435	
受取手形・売掛金	2,319	21.6	3,210	27.3	+890	
商品	820	7.6	1,130	9.6	+309	
固定資産	3,716	34.6	4,118	35.0	+402	有形固定資産+931、投資不動産▲362、投資その他の資産▲179
資産合計	10,740	100.0	11,776	100.0	+1,035	
流動負債	3,918	36.5	4,102	34.8	+184	買掛金+407、借入金+278、その他▲501
固定負債	2,380	22.2	2,962	25.2	+581	長期借入金+624、社債▲50
負債合計	6,299	58.6	7,064	60.0	+765	
純資産合計	4,441	41.4	4,711	40.0	+269	利益剰余金+43、繰り延べヘッジ損益+217
負債、純資産合計	10,740	100.0	11,776	100.0	+1,036	

	11/9月期	12/9月期 第2Q
1株当たり純資産（円）	331.2	351.3
自己資本比率（%）	41.4	40.0

キャッシュ・フローサマリー

（百万円）	11/9月期　第2Q	12/9月期　第2Q	比較増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	276	▲580	▲856
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲544	▲441	103
財務活動によるキャッシュ・フロー	398	551	153
現金及び現金同等物の期末残高	1,907	1,492	▲415

［キャッシュフローの状況］

営業活動

- 税引前純利益604百万円、減価償却費63百万円、たな卸資産の増加▲337百万円、仕入債務の増加398百万円、売上債権の増加▲887百万円、為替差益▲57百万円、固定資産売却益▲68百万円、法人税等の支払額▲221百万円。

投資活動

- 定期預金の払戻1,435百万円、定期預金の預入▲1,435百万円、投資不動産の売却417百万円、有形固定資産の取得▲965百万円、投資有価証券の償還に伴う収入100百万円

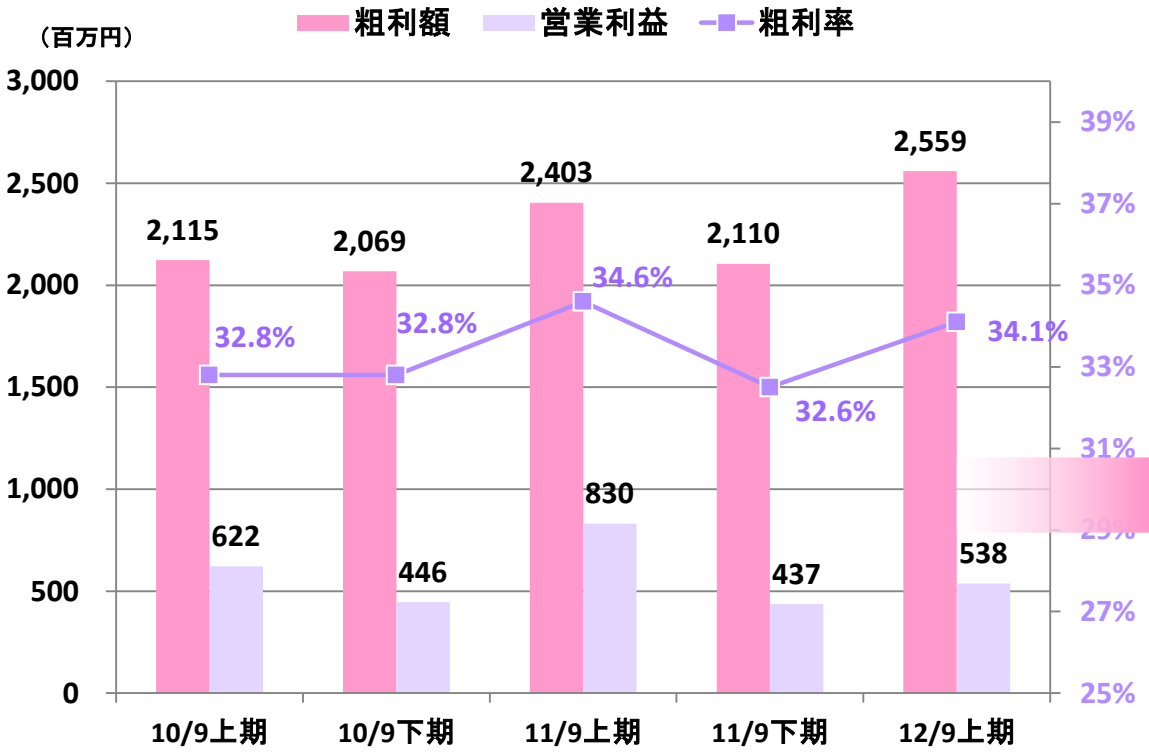
財務活動

- 短期借入金借入1,700百万円、長期借入金借入1,000百万円、短期借入金返済▲1,000百万円、長期借入金返済▲796百万円、配当金支払▲300百万円。

先行投資を積極化

笑顔を咲かせるZACCA SHO-BI

- 売上高の伸長を目指し、広告宣伝費、販売促進費などの先行投資を積極化
- 自社企画商品の販売好調により粗利益は増加も、販管費増により営業利益は前年同期比減



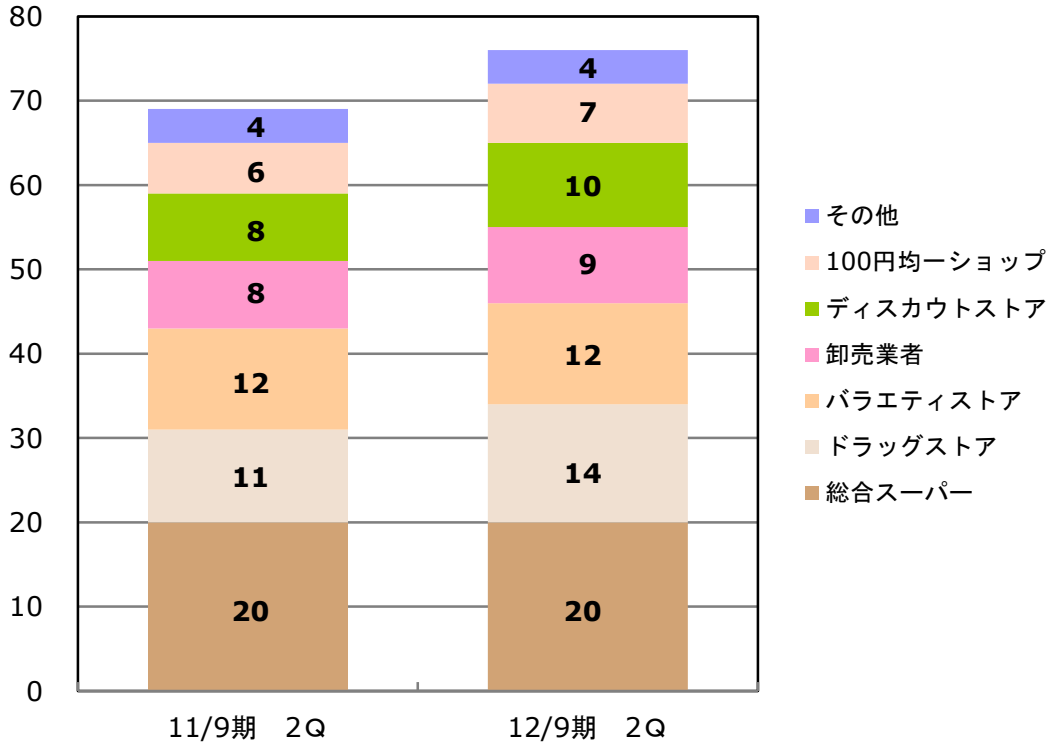
【広告宣伝費/販売促進費】

561百万円（前年同期比＋350）

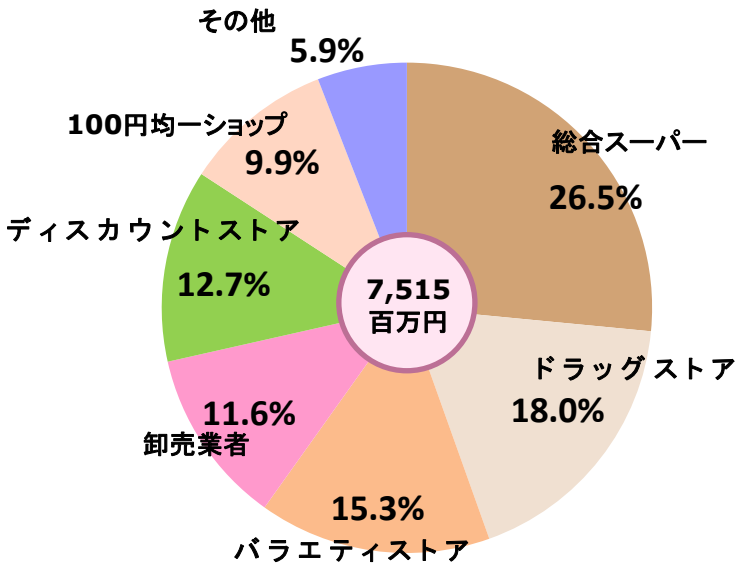
業態別売上高　総括

- 総合スーパー、バラエティストア向けは、キャラクター商品が不冴えで、全体では微減となった。
- ドラッグストア向けは、新規販売先の獲得を始め、既存販売先との取引の深耕、新規出店等により販売が順調に拡大。とくに自社ブランド投入効果によりアイメイク関連商品が好調。
- ディスカウントストア向けは、既存顧客との取引拡大に加え、新規顧客の獲得もあり、大幅増。
- 100円均一ショップは得意先の在庫調整完了により、回復。

（億円：四捨五入）



【業態別　売上高構成比】



製品及びサービス別売上げ　総括

笑顔を咲かせるZACCA SHO-BI

化粧雑貨（売上構成比70.8%）

- つけまつ毛、アイメイク関連が各販売ルートで好調

コスメグッズ



つけまつ毛



ネイルグッズ



服飾雑貨（同14.7%）

- トートバッグ、スクールバッグ、サイフ類などの販売が好調

トートバッグ



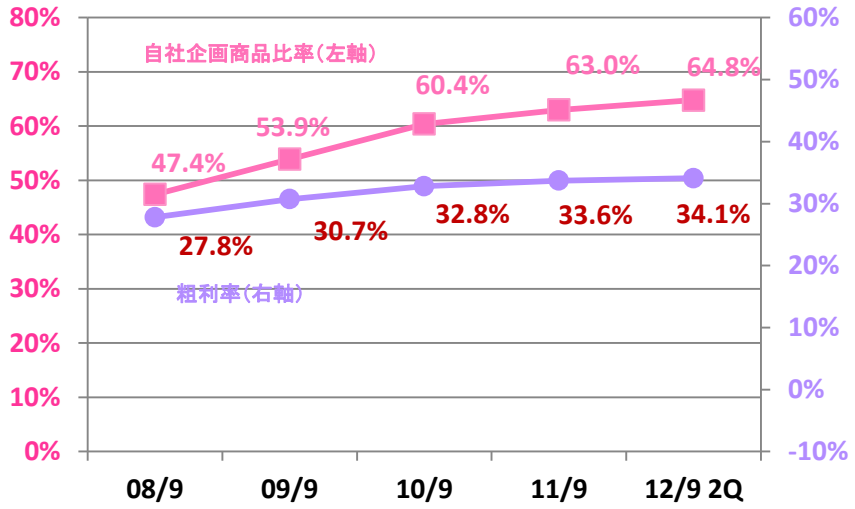
スクールバッグ



サイフ類



≪自社企画商品比率と粗利率の推移≫



その他（同14.5%）

- 多品種、低価格、低年層向けに絞ったファンシー文具がGMSを中心に販売が好調

ステーショナリー



タオル



ステンレスボトル



ギフト用品



別注商品



OEM商品



上期の主な取組み

1



◆ 2011年9月、新ブランドDecorative Eyelash「Play Girl」を上市

◆ 2012年3月、シリーズ第2弾として新アイテムを投入



2

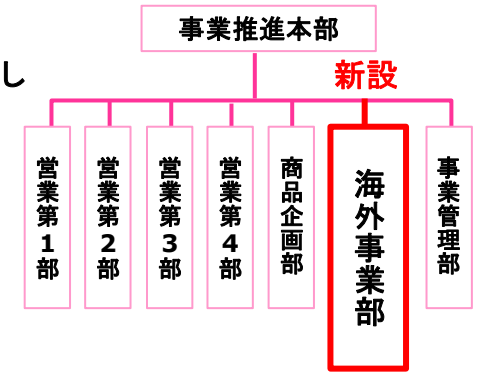


◆ 2012年1月、大人ロマンチックをテーマにした、化粧品自社ブランド「BRIGITTE」を立ち上げ



3

海外での売上げ拡大を目指し
海外事業部を新設



Decorative Eyelash 「PLAY GIRL」シリーズ

ターゲット	ギャル層を中心とした10代中半～20代の女性
コンセプト	「わがままアレンジで、PLAY GIRL！　なりたい目をプロデュース





女の子を遊ぼう、楽しもう、をテーマとし、「PLAY　GIRL」というコンセプトのもと、CUTE、SEXY、COOLの3つのテイストのつけまつげDECORATIVE　EYELASH ～PLAY GIRLシリーズ

可愛い丸目が作れる
ナチュラルな仕上がり



切れ長なストレートの
毛束で大人な表情を
演出



毛や軸を長めにした
ボリュームのある盛
れるデザイン



「BRIGITTE」

笑顔を咲かせるZACCA SHO-BI

雑誌ViVi専属モデルローラさんを起用し、新ブランドのプロモーションを展開



アイライナー Eyeliner

ラスティングブラック リキッドアイライナー

印象的なブラックラインを

- 極細筆で、繊細で発色の良い、黒くきれいなラインが思い通りに簡単にに描けます。
- 乾きが早く、仕上がりがスピーディーです。
- カミツレ花エキス配合（保湿成分）



BR45800
ラスティングブラック
リキッドアイライナー / BK-1
¥1,050 (税込)





チーク Cheek

ふんわりスイートチーク





ピンク

BR45813
ロマンティック ブラッシュ / PK-1

マスカラ & ベース Mascara & Base

瞬きするたびふわり惹きつけるまつげに

細く短いまつげもキャッチ
自然なフサフサ感





BR45805
フェザーカール マスカラ / BK-1
¥1,575 (税込)

グロス Gloss

ミルキーピンク



アイブロウ Eyebrowduo

明るめハイトーンカラー イエローブラウン





BR45802
アイブロウデュオ
ペンシルアンドパウダー / BR-1
¥1,365 (税込)

アイシャドウ Eyeshadow

ゴールドブラウンでキラツヤゴージャス





BR45809
ロマンティック アイズ / GD-1
¥1,575 (税込)

アイラッシュ Eyelash

No.1 シフォン

ふんわり 魅せる うっとりeye

繊細に広がる毛先が柔らかなボリューム感。
軽やか付け心地と目頭の抜け感がポイント。







海外事業部　活動報告　①

笑顔を咲かせるZACCA SHO-BI

粧美堂日用品（上海）有限公司を移転

事業拡大及び人員の増強に伴い、
上海子会社：粧美堂日用品（上海）有限公司を2012年3月12日に新事務所に移転


オフィス外観

中国での更なる事業拡大を目指し、ホームページを新たに開設
（www.sho-bi.cn）

アクセス！




オープニングセレモニー

「香港ギフト＆プレミアムフェア2012」へ出展



香港ギフト＆プレミアムフェア

- 2012年4月27日～30日に香港コンベンション＆エキシビジョン・センターにて行われた「香港ギフト＆プレミアムフェア2012」に出展
- 同フェアには世界35の国と地域から4,112社が出展し、46,000名以上が来場
- 当社は化粧品、化粧雑貨を中心とした商品の展示に加えて、つけまつ毛の体験イベントを開催









「CHINA BEAUTY EXPO 2012 – THE 17th INTERNATIONAL BEAUTY&COSMETICS」へ出展

- 2012年5月4日～6日に開催された中国国内最大級の美容・化粧品の総合展示会に、当社100%出資子会社である粧美堂日用品（上海）有限公司が出展
- 展示会には1,500社以上が出展し、来場者は25万人を超えた



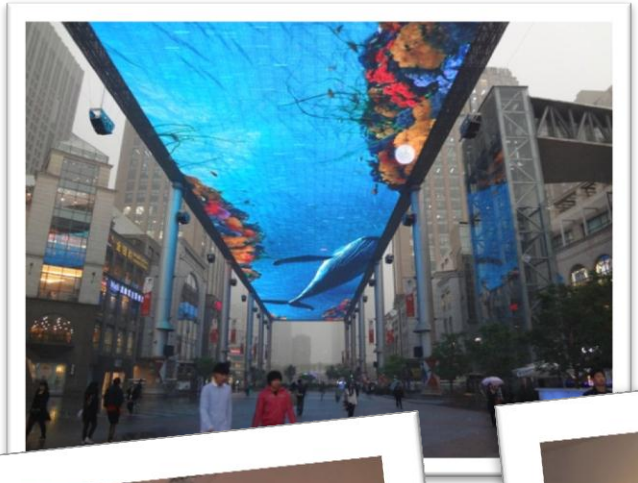




セレクトショップに新たな販売拠点をオープン

北京で最も注目されている大型ショッピングモール「世貿天階」内の
セレクトショップUTT(United Tokyo Trends)内に当社専用コーナーを開設









もう一言 このほか、上海の伊勢丹百貨店、久光百貨店内のUTTにもSHO-BIコーナーを展開している

海外事業部　活動報告　②

中国本土以外でも、積極的な営業活動を行い新規顧客開拓を進めている。足元の活動状況は以下の通り。



韓　国

12月より化粧品・雑貨専門店グループ向けにトラベルグッズ・ブランドのLumikki(ルミッキ)、化粧雑貨の供給を開始したほか、3月にも書籍と雑貨の専門店向けにLumikki、化粧雑貨の供給を開始。

この他、GMS、ドラッグストア、雑貨専門店等と商談を進めている。



香　港

高級スーパーにBRIGITTE（ブリジット）の導入が決まったほか、日系企業の海外店舗向けの商品供給の商談を進めている。この他、現地の化粧品専門店グループとも商談中。



台　湾

大手百貨店とBRIGITTEの展開について商談中。



シンガポール

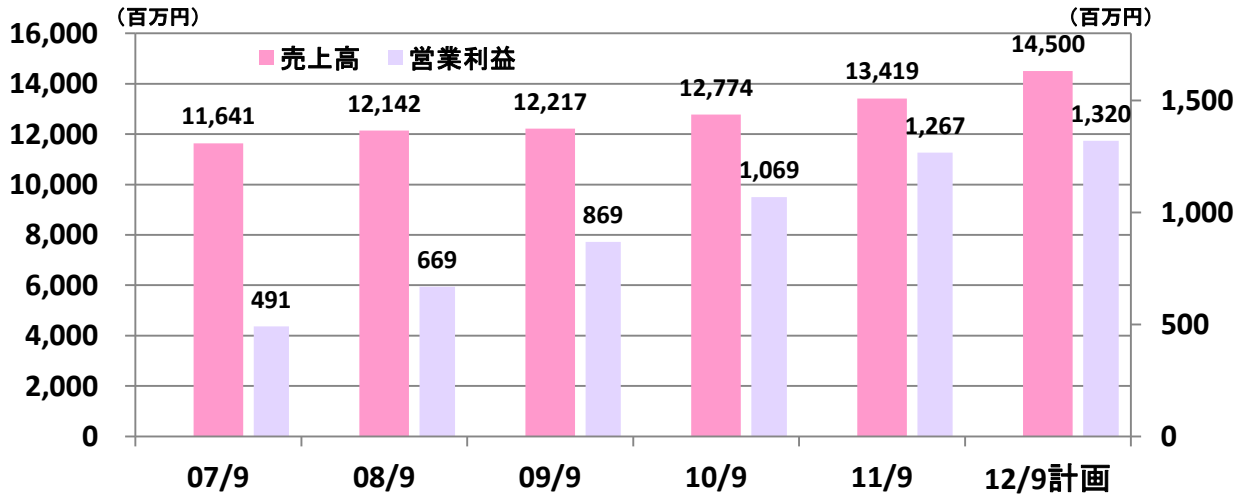
大手ドラッグストア向けにBRIGITTEの導入が決まった。

2012/9月期　通期事業計画



12/9月期　事業計画　（期初計画通り）

（百万円）	11/9期	構成比（%）	12/9期	構成比（%）	前年同期比（%）
売上高	13,419	100.0	14,500	100.0	8.1
自社企画商品	8,459	63.0	10,150	70.0	20.0
売上総利益	4,513	33.6	5,120	35.3	13.3
販売管理費	3,245	24.2	3,800	26.2	17.1
営業利益	1,267	9.4	1,320	9.1	4.1
経常利益	1,215	9.0	1,300	9.0	6.9
当期純利益	644	4.9	730	5.0	13.2



計画の前提 （期初計画通り）

（百万円）	11/9期	構成比（%）	12/9期	構成比（%）	前年同期比（%）
売　上　高（自社企画商品別）	13,419	100.0	14,500	100.0	8.1
自社企画商品	8,459	63.0	10,150	70.0	20.0
一般仕入商品	4,960	37.0	4,350	30.0	▲12.3

- 従来からの戦略である、自社企画商品の比率向上による利益率向上に加え、今期からはトップラインの拡大による新たな成長への挑戦をスタート。
- 新ブランドを積極的に立ち上げ、売上高は対前期比1,081百万円増の14,500百万円を計画、うち自社企画商品は対前期比1,691百万円増の10,150百万円を計画。
- 特に、「PLAY GIRL」「BRIGITTE」の2つのブランドについては、約3億円の広告宣伝費を投下してTVCMを含めた積極的なプロモーションを展開し、拡販を図る。
- この結果、営業利益については1,320百万円（対前期比4.1%増）、営業利益率は前期対比0.3%減の9.1%を計画。

事業戦略と進捗状況

事業戦略の概要

笑顔を咲かせるZACCA SHO-BI

戦略ストーリー　雑貨（ZACCA）専業企業として、アジアNO.1を目指す

主力テーマ

① 積極的な経営資源の投入により、従来よりの目標である利益率重視に加え、トップライン拡大による成長を目指す
② 海外事業部を新設し、中国をはじめとしたアジア展開を本格化する

売上高成長戦略

- 新商品の投入により、既存得意先については別売り場への展開を積極化。加えて、新規業態、新規売り場の開拓を進め、更なる販路拡大を図る。とくに注力2ブランドについては広告宣伝費3億円を投入し、TVCM等のプロモーションを通じて認知度の向上、売上高、利益の拡大につなげる。

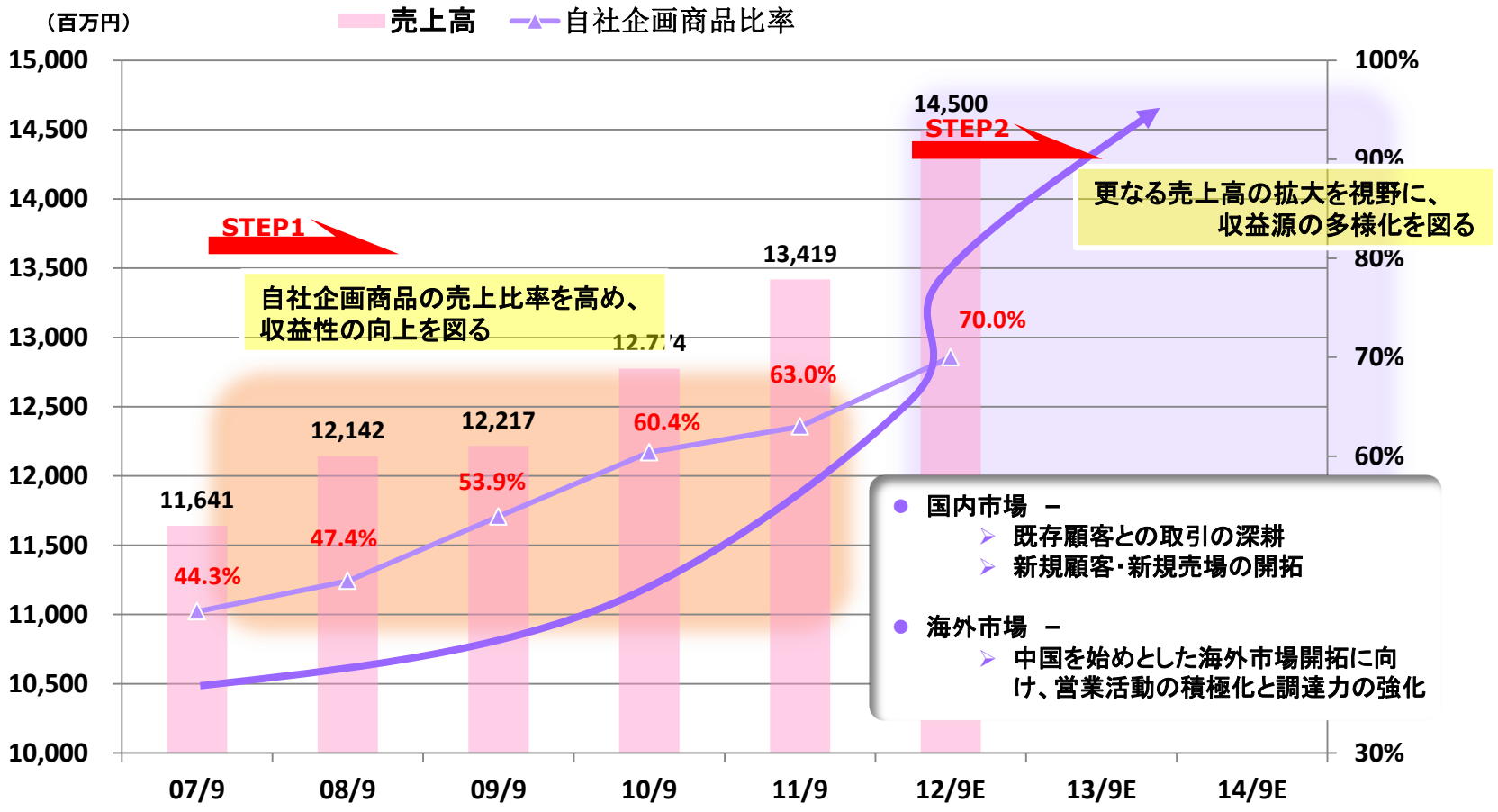
海外戦略

- 海外事業部を新設し、海外（中国をはじめとしたアジア地域）展開を本格的に推進。
- 上海子会社の人員増により営業力と調達力の強化を図る。
- 地場ドラッグストア、現地百貨店、スーパーマーケット、日本の小売業の現地法人との取引を拡大。
- 中国の美容室、エステ等、新たなルートの開拓により売上高を拡大。
- 化粧雑貨等の啓もう活動により需要創出とSHO-BIブランドの確立に積極的に取り組む。

事業戦略

【国内】・・・文具、化粧品など新たな品揃えの強化により、既存顧客での売り場面積の拡大、新規顧客獲得に拍車をかける

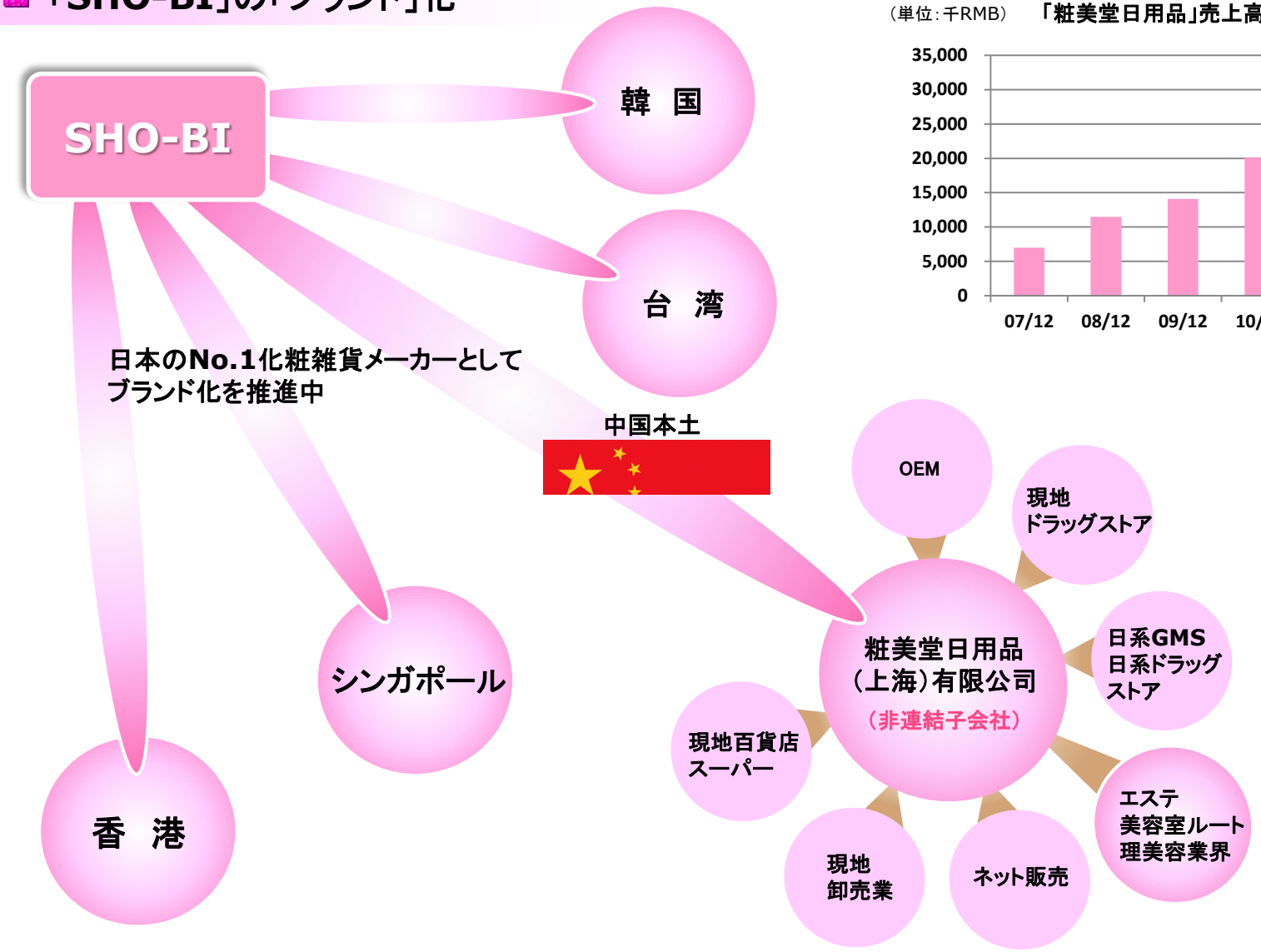
【海外】・・・海外事業部の設置により海外展開の基盤強化を図るとともに、上海子会社の増員により中国における営業力と調達力の拡充を進める



海外戦略　中国、その他地域展開の強化

笑顔を咲かせるZACCA SHO-BI

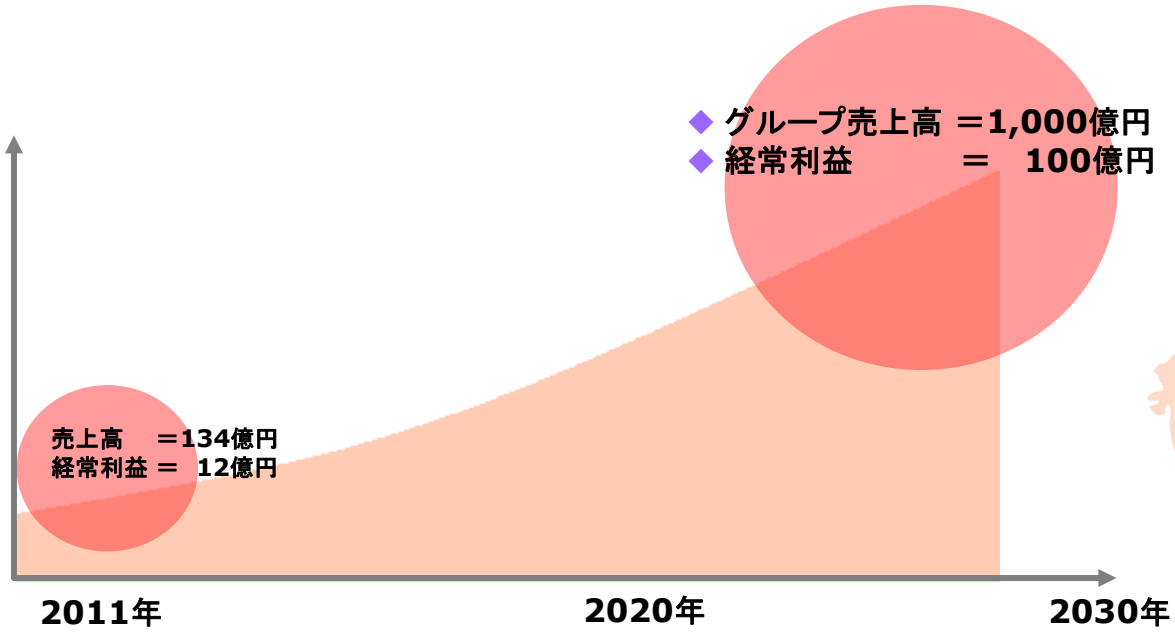
「SHO-BI」の「ブランド」化



（単位：千RMB）　「粧美堂日用品」売上高の推移

☆ 日本国内でのTVCM放送は、アジア市場開拓の上で当社の想定以上の効果を発揮している。

長期ビジョン





雑貨専業企業として
アジアNO.1を目指す

株主還元方針

配　当

配当性向
目途　＝　40～50%

予想配当金額（年間：期末）
22.5円（2011/9）⇒22.5円（2012/9予定）

株主優待

期末日に1単元以上の株式を保有する株主様に株主優待限定の自社企画商品を贈呈

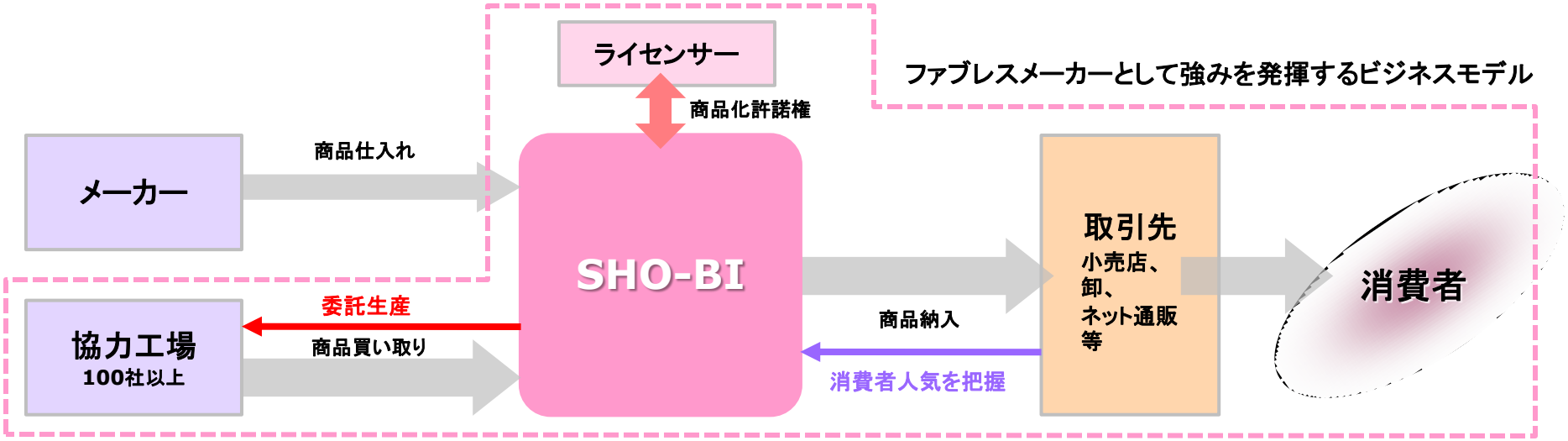


2011/9期の株主優待品

（ご参考）事業概要とデータ

ビジネスモデルと強み

雑貨　卸売＆ファブレスメーカー



CORE COMPETENCE 1　卸とメーカーの両面を持つ

卸とメーカーの両面を有することで、多様な取引先ニーズに対応可能であり、“売り場を任される” WIN、WIN　の関係が強みを発揮している。

CORE COMPETENCE 2　マーケットインの企画・開発と在庫管理

マーケットインの発想で、「自社企画商品」が生み出され、在庫リスクが徹底管理されている。

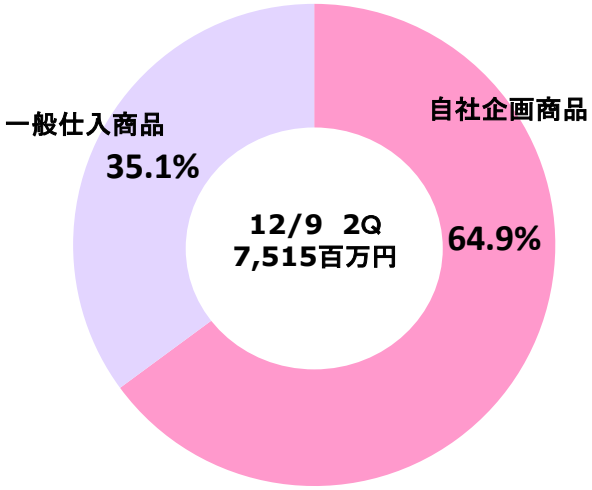
CORE COMPETENCE 3　アライアンス・企画力

販売先、ライセンサーと自社企画力が融合し、流行にマッチした多くのヒット商品が生み出されている。

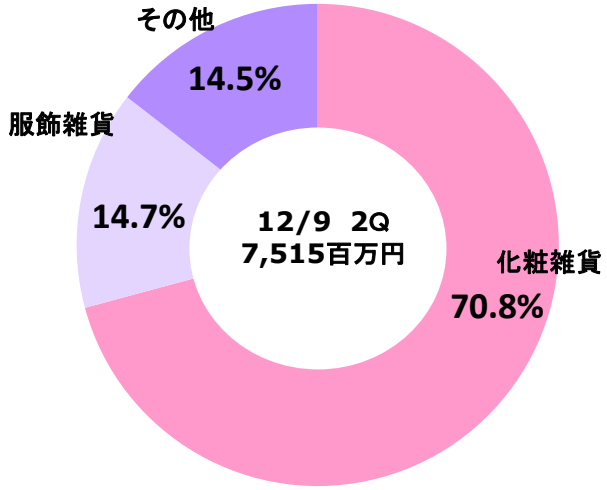
売上高　構成比率

笑顔を咲かせるZACCA SHO-BI

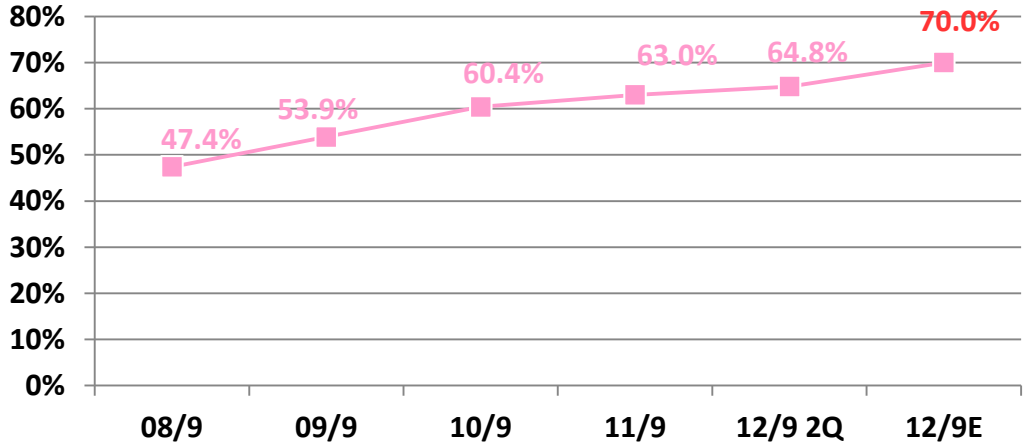
自社企画商品　売上高構成比



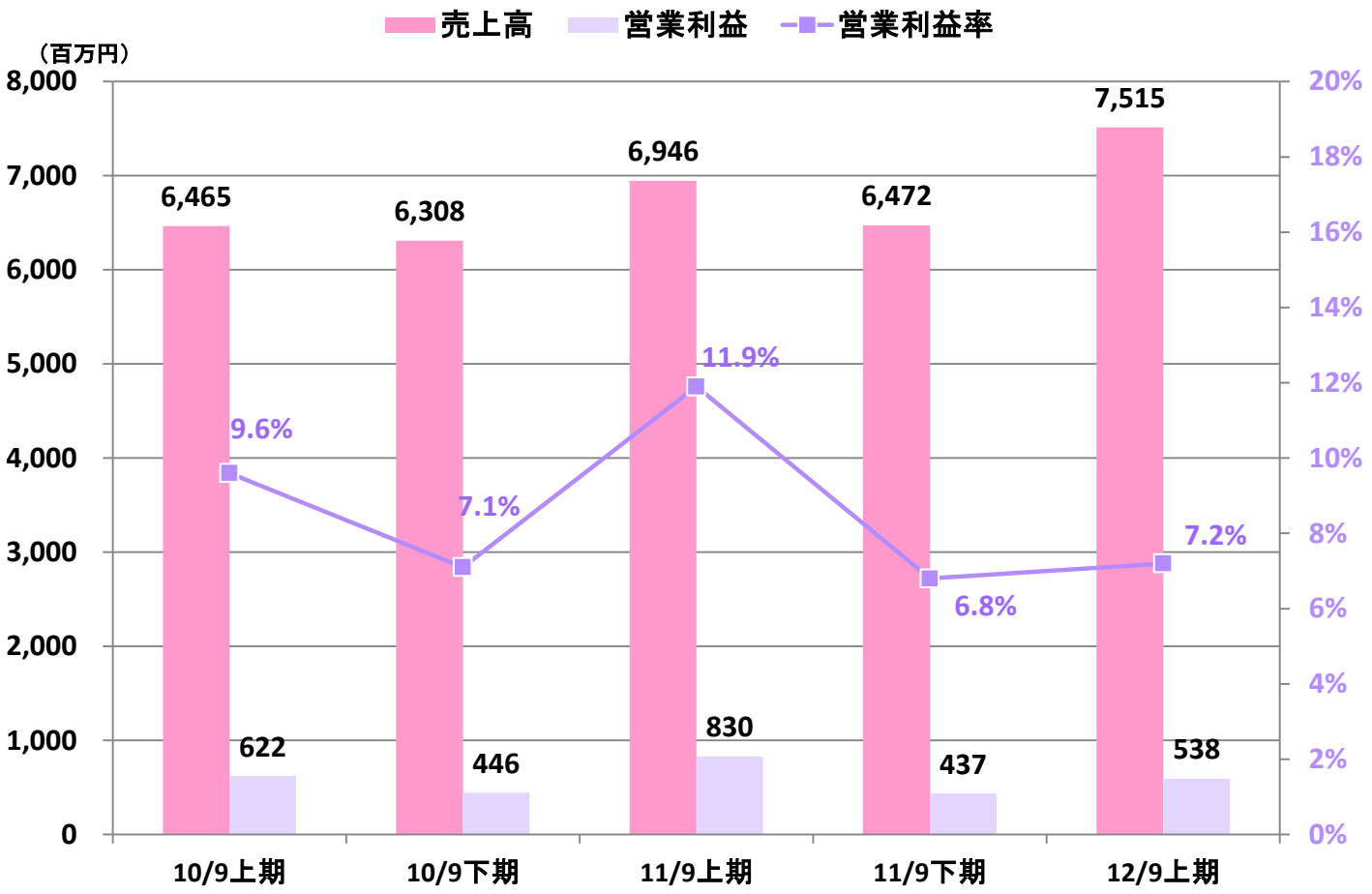
製品・サービス別　売上高構成比



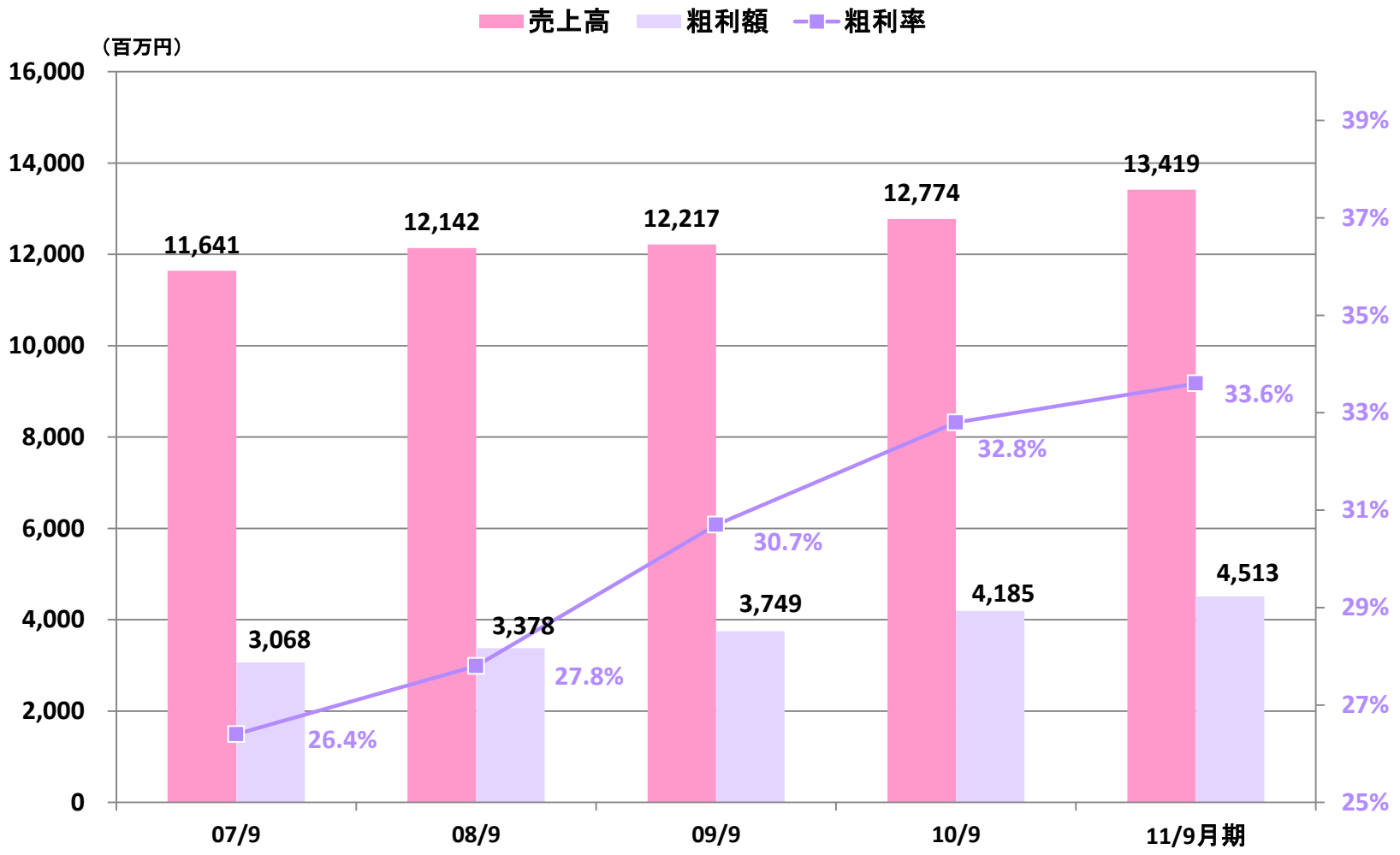
自社企画商品比率の推移



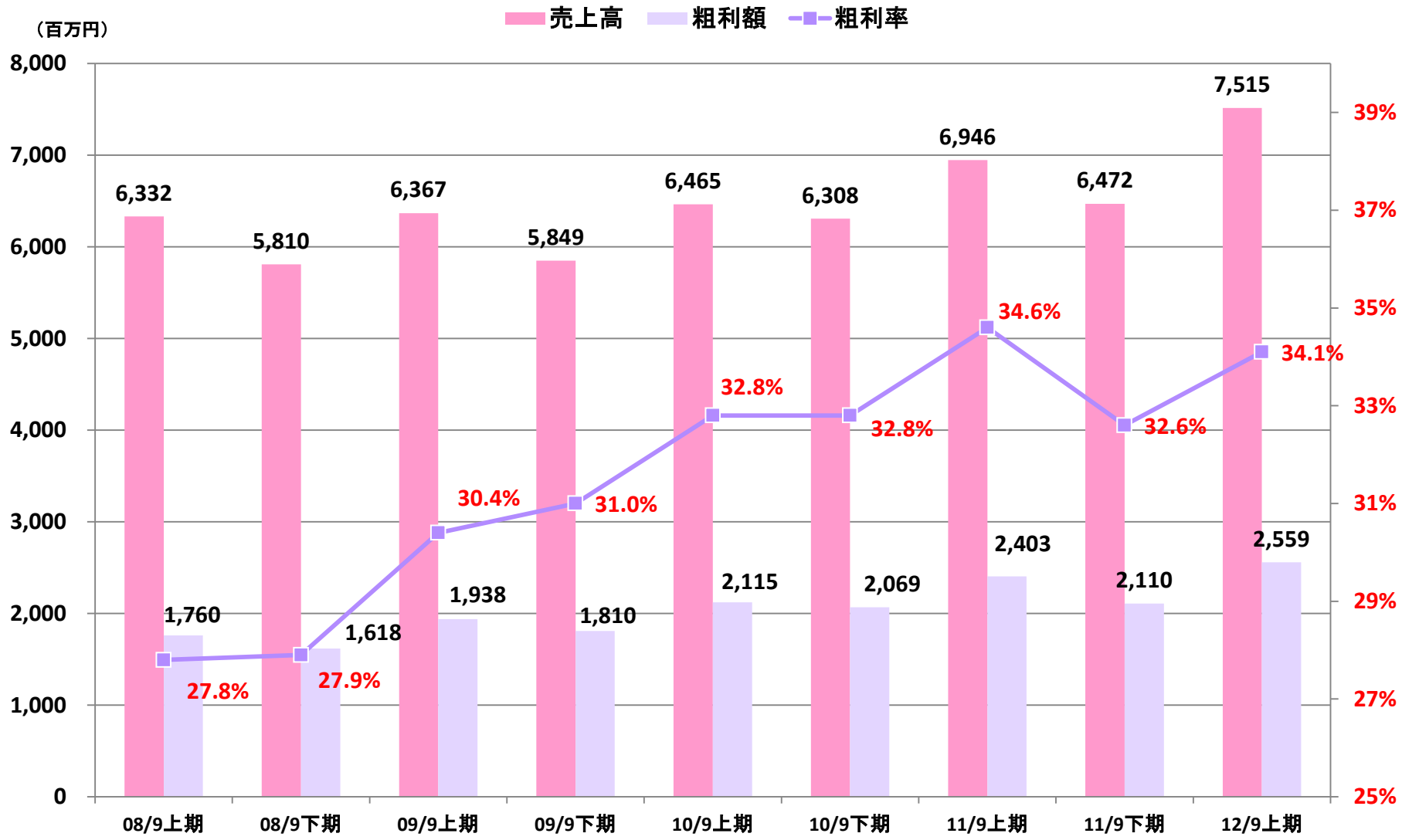
半期ベース　売上高、営業利益、営業利益率



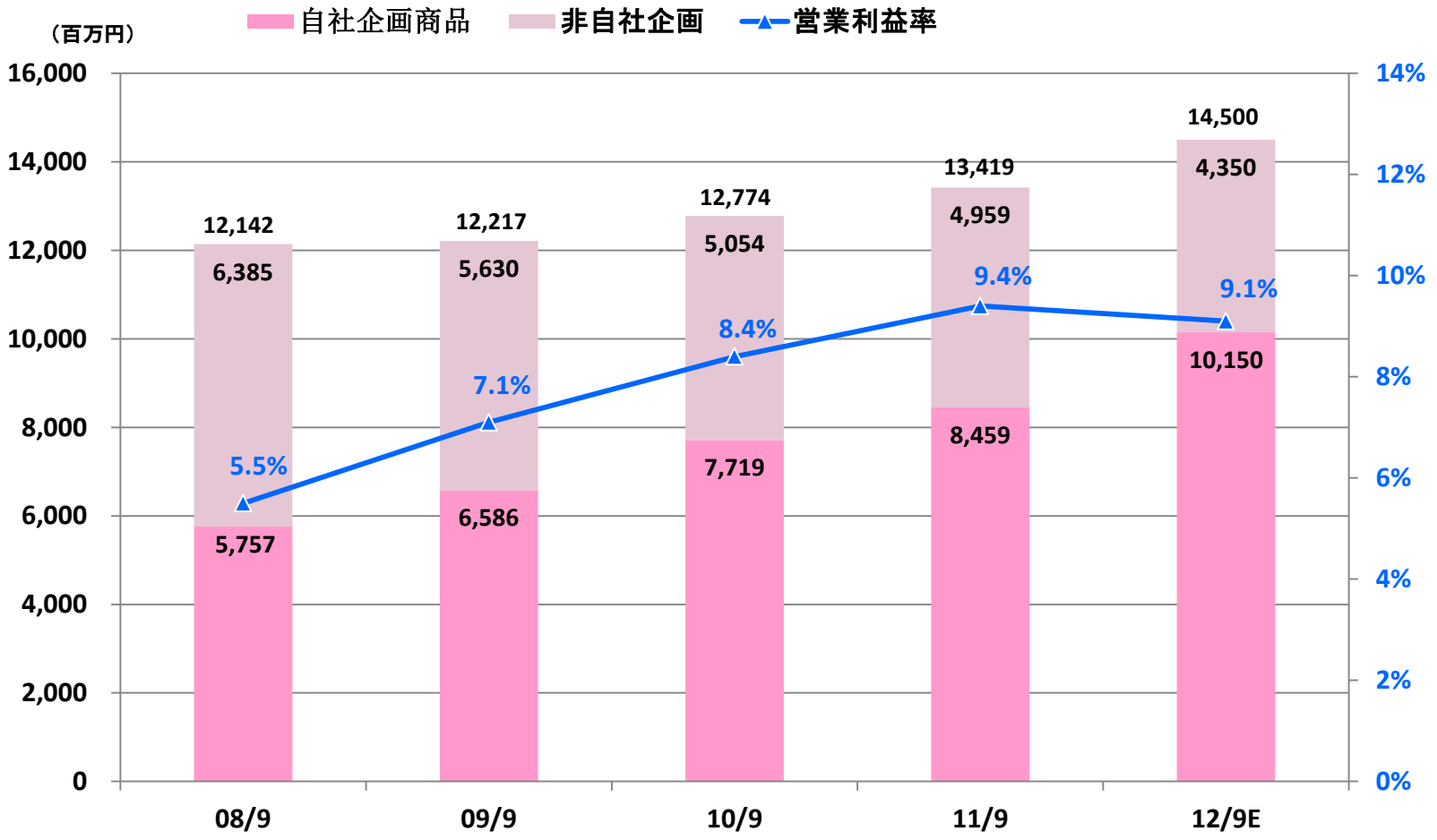
売上高、粗利額、粗利率の推移



半期別データ


売上高
粗利額
粗利率
（百万円）
8,000
7,000
6,000
5,000
4,000
3,000
2,000
1,000
0
39%
37%
35%
33%
31%
29%
27%
25%
6,332
5,810
6,367
5,849
6,465
6,308
6,946
6,472
7,515
1,760
1,618
1,938
1,810
2,115
2,069
2,403
2,110
2,559
27.8%
27.9%
30.4%
31.0%
32.8%
32.8%
34.6%
32.6%
34.1%
08/9上期
08/9下期
09/9上期
09/9下期
10/9上期
10/9下期
11/9上期
11/9下期
12/9上期

自社企画商品と営業利益率



本資料には、将来の業績に関る記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

お問合わせ先

総務部　IR担当
TEL：03-3472-7890